

伊達地域 防災訓練 ～コロナ感染症対応を学ぶ



受付の様子 検温、消毒、マスクをつけています 発熱者は別室へ



段ボール箱のベッド 床から高いので温かい



ワンタッチで組み立てられる隔離エリアテント

町内会	人数	検温	消毒	マスク	その他
1 伊達町	100	100	100	100	100
2 伊達町	100	100	100	100	100
3 伊達町	100	100	100	100	100
4 伊達町	100	100	100	100	100
5 伊達町	100	100	100	100	100
6 伊達町	100	100	100	100	100
7 伊達町	100	100	100	100	100
8 伊達町	100	100	100	100	100
9 伊達町	100	100	100	100	100
10 伊達町	100	100	100	100	100
11 伊達町	100	100	100	100	100
12 伊達町	100	100	100	100	100
13 伊達町	100	100	100	100	100
14 伊達町	100	100	100	100	100
15 伊達町	100	100	100	100	100
16 伊達町	100	100	100	100	100
17 伊達町	100	100	100	100	100
18 伊達町	100	100	100	100	100
19 伊達町	100	100	100	100	100
20 伊達町	100	100	100	100	100

各町内会の安否確認の様子(一覧表)

NPO法人
伊達西地区

自治協だより

第28号

発行・編集
NPO法人
伊達西地区自治協議会
発行責任者
理事長 小野孝雄

避難の仕方を考えて

8月7日(金)、伊達中央交流館で「伊達地域感染症対応型避難所設置・運営訓練」を実施した。台風接近・通過の可能性大により、「警報発令」の想定で訓練開始。

避難所開設・運営について、感染症対応の方法を学んだ。避難所開設：受付、避難する場所等を明示する。避難所運営：受付時に検温、マスク着用、消毒、体調不良者の隔離(別室)など、実際に参加者が避難者として、検温、避難場所、2階の部屋(隔離)へと移動等の体験をした。

同日、令和2年度伊達西地区自主防災会の防災訓練を町内会と連携して実施した。主な訓練内容は、町内会毎に安否確認をすることでした。

伊達西地区 防災訓練 〈町内会と連携〉

同日、令和2年度伊達西地区自主防災会の防災訓練を町内会と連携して実施した。主な訓練内容は、町内会毎に安否確認をすることでした。

シリーズ おらが町内会パート2 志和田一・志和田二

◆志和田神明宮の成り立ち

志和田神明宮は、その境内内に志和田集会所、山車倉庫や志和田第二町内会の防災倉庫が設置され、子供たちや親子連れが遊びに来るなど、地域の交流拠点として親しまれています。

このように志和田地域の拠り所として親しまれている志和田神明宮の成り立ちをご紹介します。

志和田神明宮は、文政8年(1825年)に志和田地区の守り神として建立されました。

建立の経緯は、記録にありませんが、世間でよくわかりませんが、史実によると江戸幕府が発した「外国船追放令」の年で、無二念打払令というもので、政情も不安だったのだと想定できます。

さらにその前年、文政7年8月13日から15日にかけて、東北地方に大雨暴風が襲い、この地域は洪水に見舞われたようです。自然災害から飢饉に襲われ、病氣も派生するなど、志和田の地域は疲弊し活力の無い土地になつていったのでしょう。

そこで地域の人々は、自然の脅威の鎮静を神様にお願ひするために志和田神明宮を建立したものと考えられます。それ以降、氏子により維持運営されてきた。



→10月に執り行われる
志和田神明宮の祭礼の様子

(志和田第一町内会長 安斎 孝夫)

(志和田第二町内会長 一瓶 芳次)

若い世代が多い新しい町内会です。

シリーズ おらが町内会パート2 扇田・中道

◆新しい町内会が設立

扇田・中道町内会は、令和2年4月1日に設立し、活動を開始しました。設立にあたりまして、志和田第一町内会様、志和田第二町内会様にご協力いただきましたことをこの場をお借りして改めて御礼申し上げます。

設立当初は83世帯でしたが、中道地区への入居者の増加に伴い町内会への入会者も増え、9月1日現在では101世帯と増えております。今後もさらに増えることが予想されており、最大で約150世帯になる見込みとなっております。

当町内会は「認定こども園伊達こども園」を囲むように位置しております。また、町内会員も子供がいる若い世代が多いため、子供の安全・安心を守ることに町内会の重要な役割の1つだと考えております。

その一環として、子供達の大切な遊び場所である公園の清掃活動を実施したところ、大人・子供合わせて100名以上の方に参加していただきました。新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な活動が制限されて



子どもたちといっしょに公園の清掃

いる状況で、町内会活動も思うように実施出来ないことも多いですが、これから経験と努力を重ね、一致団結して活動してまいりますので、伊達西地区町内会連合会の皆様には今後もご指導ご鞭撻いただきますようお願いいたします。

(扇田・中道町内会長 遠藤 正幸)

編集後記

今号で紹介されたように、約100世帯の扇田・中道町内会が設立されました。発展する伊達西地区を象徴するよう、それだけ魅力ある地域ということでしょう。反面段々昔の風景が失われていく寂しさも感じています。(菊田)



3台の紙芝居、映像と、聞き入りました。



彦内と西念和尚の略伝を話す菊田講師



←天王おけ朗読
の小林さん



↑拍子木を打つ
八島さん

2らぶDate VI 歴史探訪①
彦内と西念和尚の紙芝居
9月18日(金) 今回の歴史探訪は、新しく出版された「寛延三義民物語―天狗廻状―」(西念さまのおはなし)の二つの紙芝居を「おはなしバスケット」のお二人に披露してもらいました。

はじめに講師の菊田正男様から、斎藤彦内の業績、伝承、西念和尚の伊達に伝わる西念様、浪曲、他所の西念様についてお話がありました。さらに、この二つの紙芝居は伊達町民の方が作画をしたこと、また、数百年にわたりその遺徳が語り伝えられてきたこと、を踏まえて鑑賞してみましようと言われました。

「パンチパンチ」と拍子木の合図で始まり、「彦内」と「西念和尚」の紙芝居を八島佳子様の語りで、「長岡の天王おけ」を小林節子様が朗読されました。三台の紙芝居を皆さんそれぞれにじっくりと見入っていました。

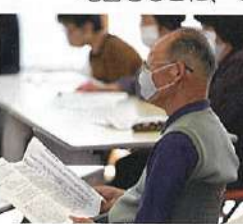
2らぶDate VI 大地編①
あらためて「長岡」
9月30日(水)に、6年次、第1講は、あらためて「伊達西地区(長岡)」の自然環境の特色として、八島俊雄講師を迎えて開講しました。

東北中央道(相馬・福島)の「伊達桑折IC」「桑折JCT」が開通し、今後の発展が期待されます。ここで今一度、西地区の交通路変遷について思いを語って戴きました。

長岡は古代から現代まで陸上交通の要所だった。そしてこれからは、福島盆地のどきどき、その様子、から読み解いて戴きました。



地図をもとに、ていねいに提示、解説



●コロナ終息を願って、東町ことぶき会の千羽鶴
現在、交流館内に東町ことぶき会の皆様から折った千羽鶴を展示しています。会の活動を休止せざるを得ない状況が続く中、会員81名が協力し、コロナ終息の願いを託して制作されたそうです。



思いのこもったカラフルな鶴を見て心がいやになります。交流館にお立ち寄りの際は、ひとつひとつ眺めてみてください。



自主防災組織の役割について
最近大災害が多い 自助、共助、公助が重要です

「自主防災組織の役割」・講話
9月16日(水)伊達市防災専門員の星智雄様を迎えて、「自主防災組織の役割」について講話をいただきました。自治協と町内会連合会の共催で、それぞれの防災部員・防災委員、さらに自主組織未設置町内会の方々に参加してもらいました。



星 防災専門員



引き続き感染症対策をしながら講座を開催しています



→講師の高野先生



宮沢賢治の文学世界VI③④
高野保夫福島大学名誉教授による講座(全7回シリーズ)の第3回が8月4日(火)、第4回が9月8日(火)に行われました。

子ども農園
毎月第2・第4金曜日に開催している子ども農園には、現在18名の子どもたちが参加しています。



↑小さな種をなくさないよう大事に持って



静かに自分自身と向き合う時間

ママのヨガ教室
10月1日(木)から、全6回のヨガ教室が始まりました。講師は深谷恵先生です。

20〜40代の子育て世代を対象として、その年代に適したヨガを教えてください。人によって違う体質や悩みに寄り添い、心も体もリフレッシュできるように、指導していただいています。毎回、家庭で子どもさんと一緒にできる「おみやげヨガ」を教えてください。ただ楽しんでも構いません。

講師の深谷先生

